

2025. 2. 8 Sat. 14:30-18:30

@鹿児島大学法文学部ラーニングコモンズ2

テクノロジーと文化

現代の文化において（メディア）テクノロジーの存在は無視することができない、もしくはますますその存在感を強めています。「テクノロジーと文化」と題した今回の研究会は、テクノロジーおよびテクノロジーと文化等の関係についてさまざまな角度から取り組んできた研究者を招き、知見の交換や議論を行います。本研究会は萌芽的なアイデアや着想を提示し、共有し、その可能性を参加者全員で考えることを基本的な路線としています。全員がリラックスして臨める場となると思われますので、ご興味をお持ちの方は、ぜひ遠慮なくご参加ください。

14:30-14:45 趣旨説明

14:50-15:10 太田純貴（鹿児島大学） 「メディア考古学とイマジナリー・メディア」

15:10-15:30 福田裕大（近畿大学） 「メディア考古学／フランス文学の接点：シャルル・クロ、
ヴィリエ・ド・リラダン、音響メディア史」

15:30-15:50 城一裕（九州大学） 「録音された音（音楽）の再検討」

15:50-16:10 秋庭史典（名古屋大学） 「自然計算の美学、2011年から見た現在」

16:10-16:30 松本健太郎（獨協大学） 「ゲームと旅、およびそれらの接点から考える人と環境」

16:30-16:50 休憩

16:50-18:30 意見交換・ディスカッション